

石津小学校体育館トイレ改修工事

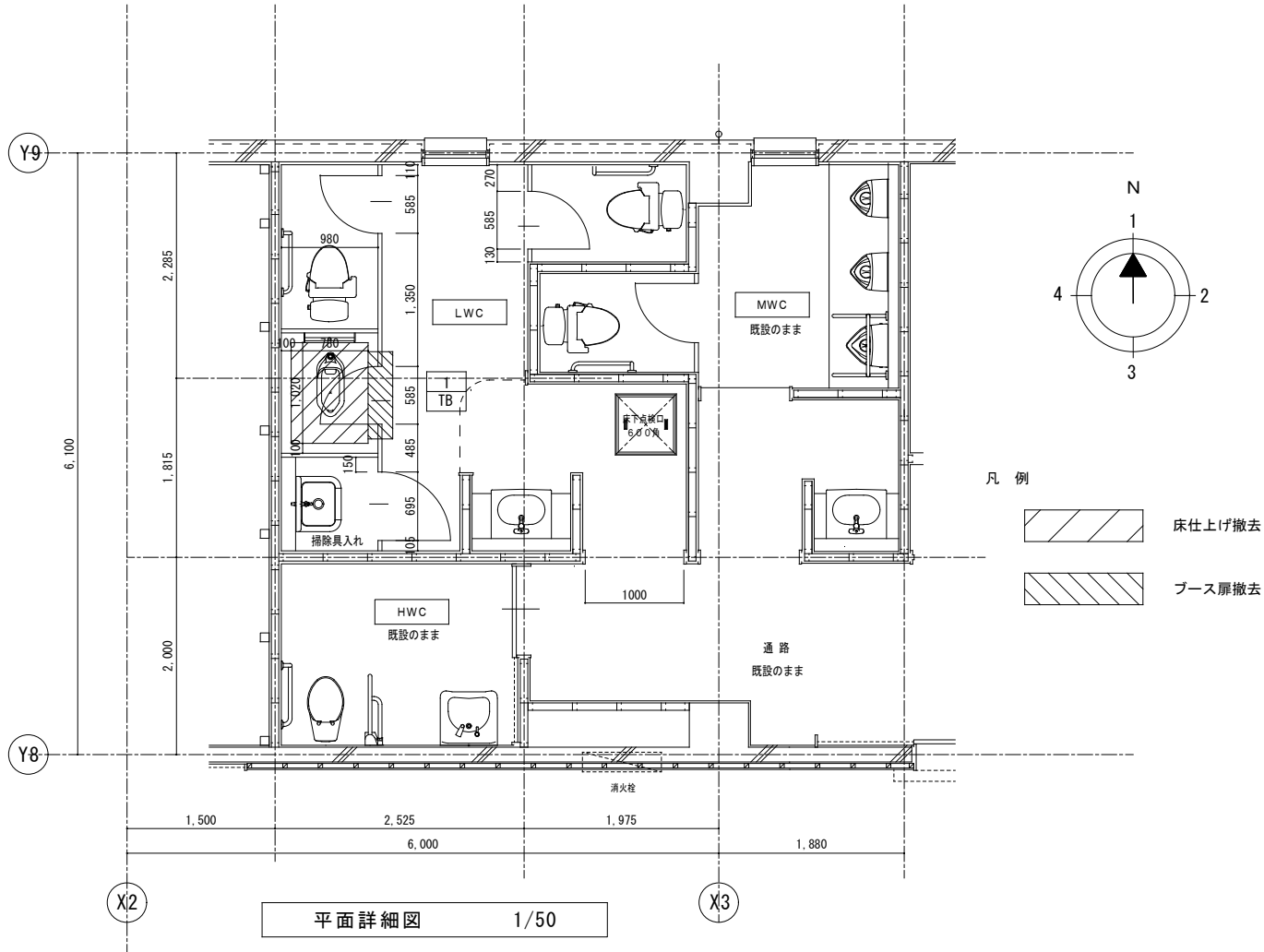
図 面 目 録	
0 0 1	建築改修工事特記仕様書 1
0 0 2	建築改修工事特記仕様書 2
0 0 3	建築改修工事特記仕様書 3
1 0 1	配置図
1 0 2	改修前 平面詳細図・展開図
1 0 3	改修後 平面詳細図・展開図
1 0 4	改修前 断面詳細図・天井伏図・床伏図・建具図
1 0 5	改修後 断面詳細図・天井伏図・床伏図・建具図
3 0 1	電気設備 特記仕様書
3 0 2	改修前後 コンセント設備平面詳細図
4 0 1	機械設備 特記仕様書
4 0 2	改修前 平面図
4 0 3	改修前・後 便所平面詳細図
計 1 4 枚（表紙含む）	

[illegible]

3	9. ルーフドレイン 10. アルミニウム製笠木 11. 防水保証	※ 鋳鉄型 ※ 縦型 ・ 横型 部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 ※ B-1種 ・ B-2種 アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 ・ 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。				4	3. 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ タイル張り仕上げ 工 法 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ タイル部分張替え工法 アンカーピンの材質 ※ <4.2.2(e)(f)>による。 アンカーピン固定用エポキシ樹脂 ※ JIS A6024のJIS表示認証製品 ※ 硬質 高粘度形 注入用エポキシ樹脂 ※ JIS A6024のJIS表示認証製品 タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 施工箇所 形状寸法 (mm) 施工 無 有 役物 色 標準 注文 再生材 備 考 利用 タイル ※セメントモルタルによるタイル張替え工法 <表4.5.4>により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。 ・ 有機系接着剤によるタイル張替え工法 <表4.5.5>による。 4. タイル張り 5. 塗り仕上げ 外壁					6. 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理 5 1. 一般事項 2. アルミニウム製建具 3. 網戸 4. 樹脂製建具 5. 鋼製建具 6. 鋼製軽量建具 7. ステンレス製建具	7	8. 木製建具 9. 建具用金物 10. 自動ドア 開閉装置 11. 重量 シャッター 12. 軽量 シャッター 13. オーバー ヘッドドア 14. ガラス	10. 自動ドア 開閉装置 11. 重量 シャッター 12. 軽量 シャッター 13. オーバー ヘッドドア 14. ガラス	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまち戸の樹脂 かまちは杉上小節程度 棧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま 工法 (・ 在来型 ・ チップ型) 金物の種類 型 式 製造所 シリンダー箱錠 既設合わせ 本締り付きモノロック モノロック シリンダー本締り錠 グレモン錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ピボットヒンジ レバーハンドル 戸あたり ありり止め付き 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。 マスターキーの作成 ・ 要 ・ 不要(既存マスターキーで施錠可能とする。) 性能 ・ スライディングドア ・ スイングドア センサーの種類 ・ 光線式(反射)スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ※ センサーの種類によらず補助センサー併用とする 凍結防止装置 全半開装置 ・ 要 ※ 不要 ・ 設ける(半開幅=) ・ 設けない 種 類 シャッターケース 耐風圧強度 開閉方式 保護装置 ・ 一般シャッター ※ 設ける ・ 設けない 建具表及び図示による ※ 上部電動式(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 防火シャッター ※ 設ける ・ 外壁用 ・ 屋内用 ※ 上部電動式(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 防煙シャッター スラット及びシャッターケース用鋼板 <表5.10.3> ※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) 開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度 スラットの形状 保護装置 ※ 手動式 ※ 設ける 建具表及び図示による ※ インターロッキング型 障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 上部電動式(手動併用) ・ 設けない ※ オーバーラッピング型 ※ 設けない スラットの材質 <表5.11.3> ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) 材 質 開閉方式 収納形式 耐風圧性能 ガイドレール ※スチールタイプ ※ バランス式 ※ スタン ・ 50 ※ 溶融亜鉛 ・ アルミニウムタイプ ・ チェーン式 ・ ダーシ 75 ※ メッキ鋼板 ・ アルミニウムタイプ ・ 電動式 ・ ロー ・ 100 ※ ステンレス鋼板 ・ ファイバーリフトタイプ ・ ハイ ・ 125 (JIS A4715 ・ グラスタイプ ・ パーチによる強さの区分) ・ カル形 保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 色調 ・ 1類 ・ 2類 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 性能 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 (・ U3-1 ・ U3-2) ・ 4種 ・ 5種 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へ性 耐久性 色調 ・ 1種 ・ 2種 ・ A類 ・ B類 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ シルバー 反射皮膜 映像調整 ・ 内側 ・ 外側 ・ 行う ・ 行わない							
		2	5	2	0			石津小学校体育館トイレ改修工事				建築改修工事特記仕様書2					scale A2→1/*** A3→70%	date	design	draw	check	大建設株式会社		

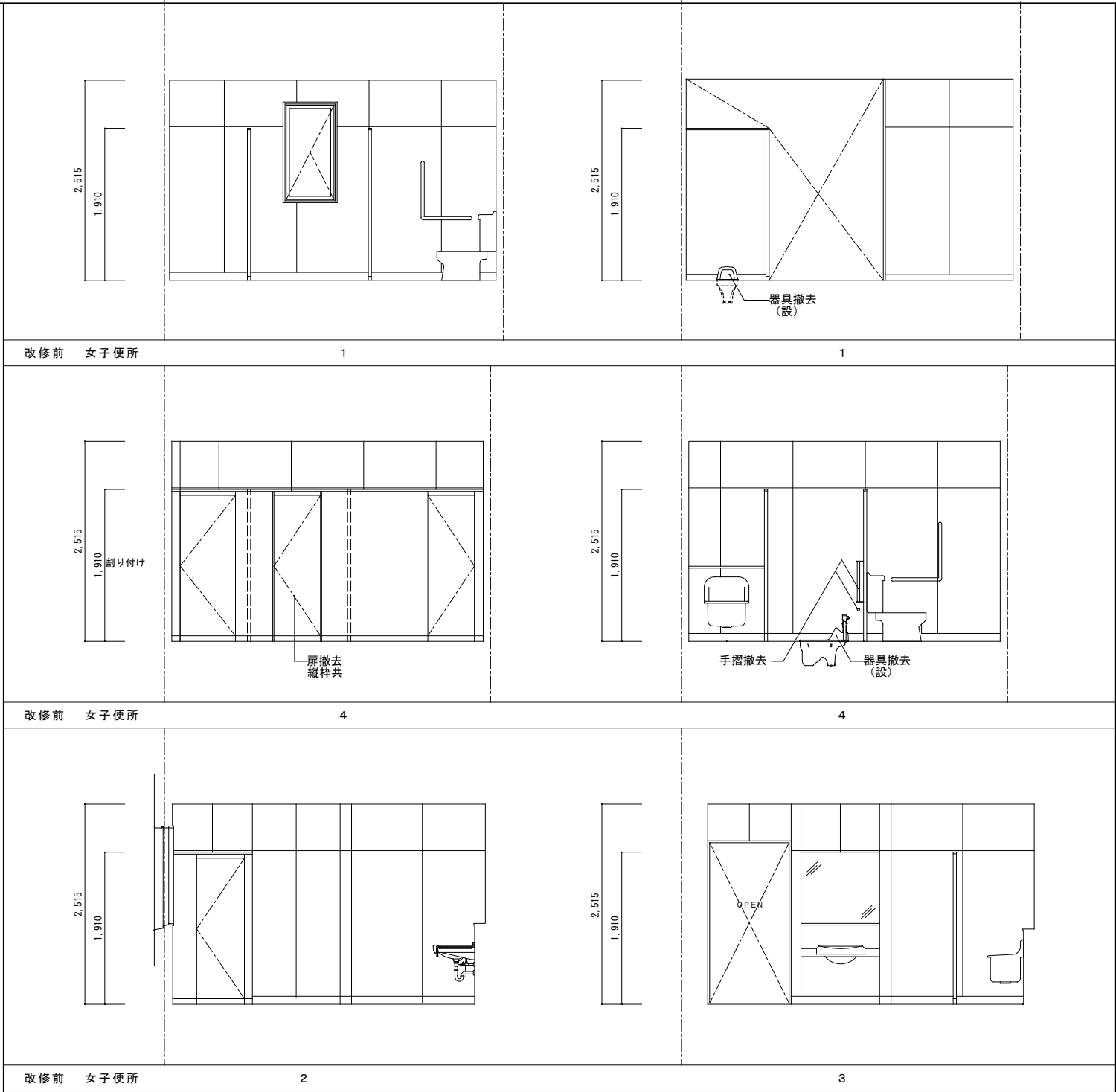
発砲複層

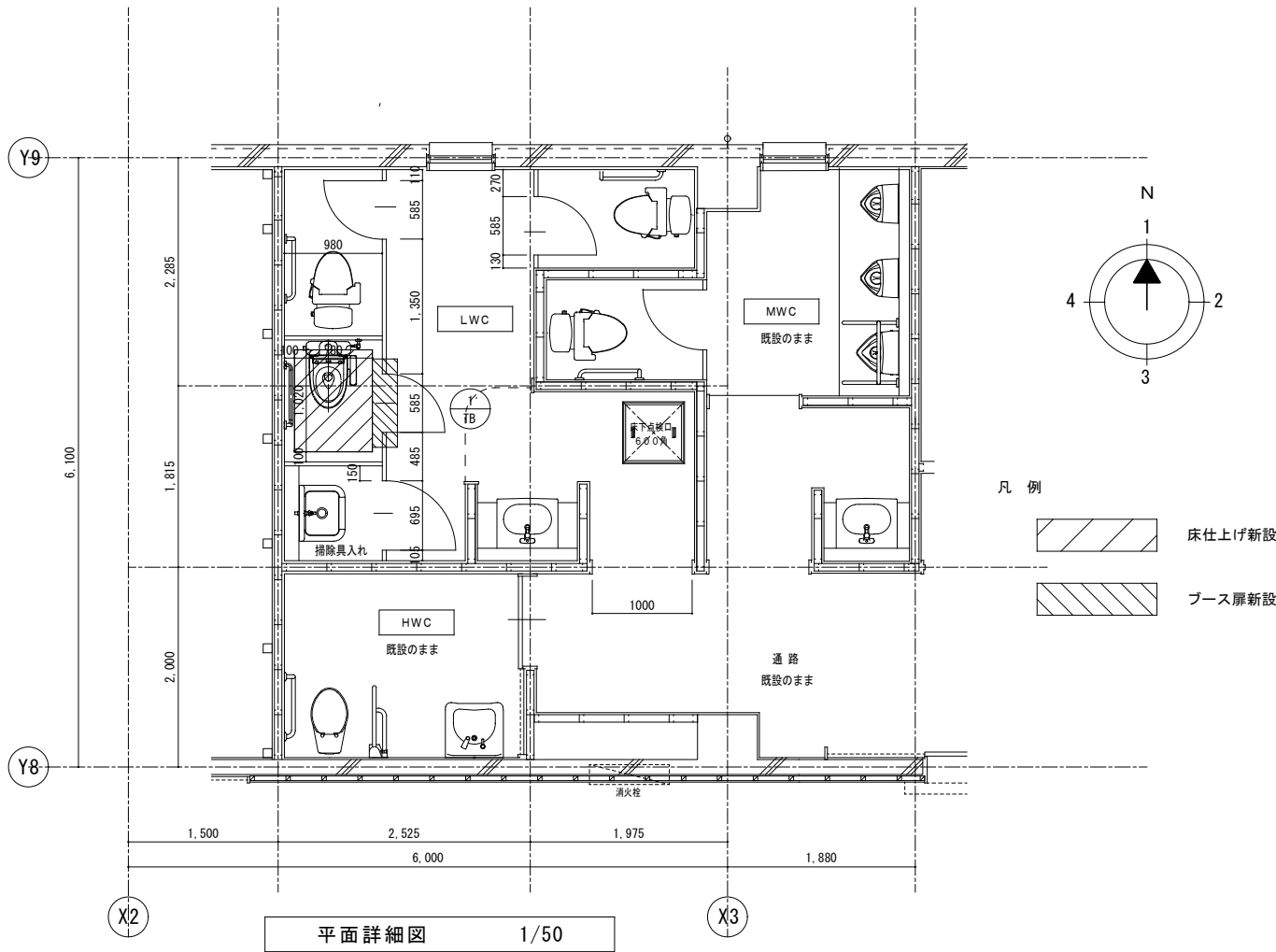
[illegible]



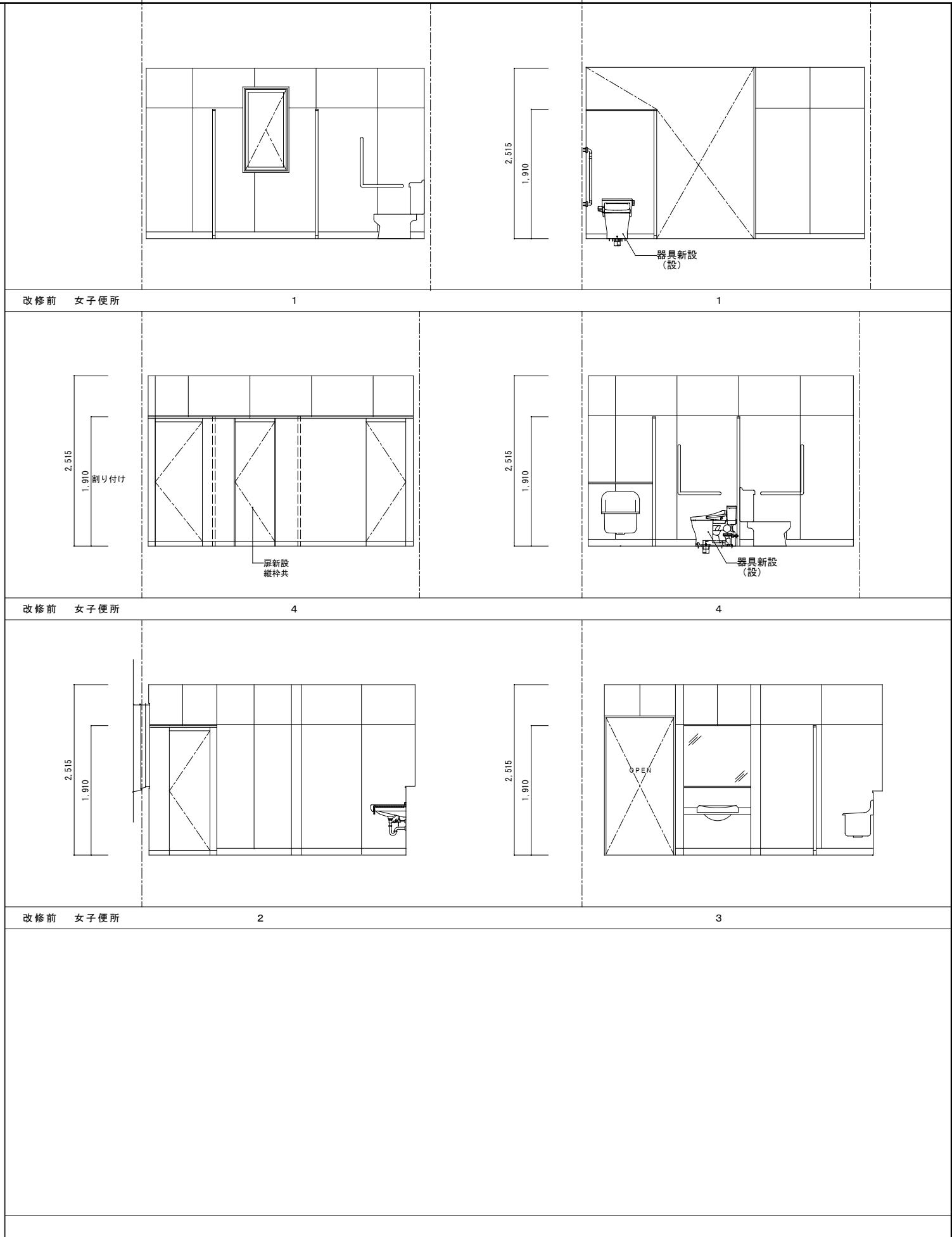
仕上げ表		
	女子便所	男子便所
天井	ケイカル板t=6 AEP 一部 撤去 塩ビ廻り縁	既設のまま (女子便所に同じ)
壁	化粧ケイカル板 SK面台 : SUS	既設のまま SK面台 : SUS (女子便所に同じ)
巾木	ビニル巾木 H=100	既設のまま (女子便所に同じ)
床	長尺ビニールシート 一部 撤去	既設のまま (女子便所に同じ)
その他	トイレブース扉 撤去 (縦枠共) 和便器・紙巻き 撤去 (設) 和便器前手摺 撤去	

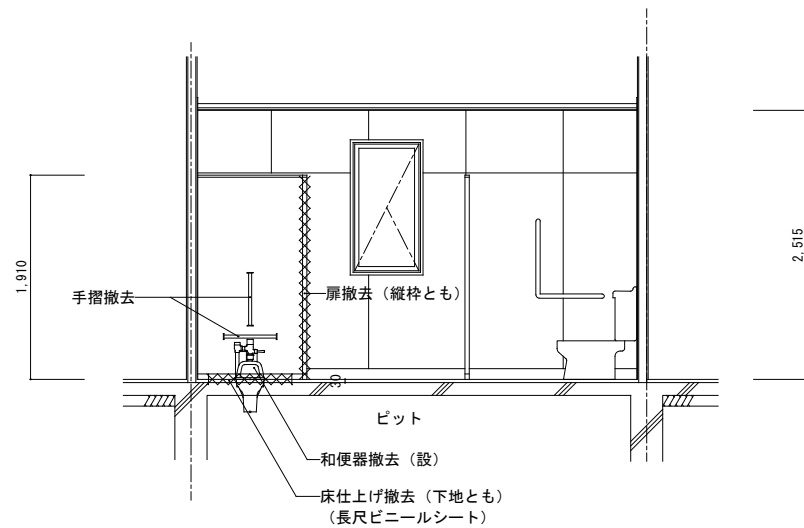
(設) : 機械設備での対応を示す。



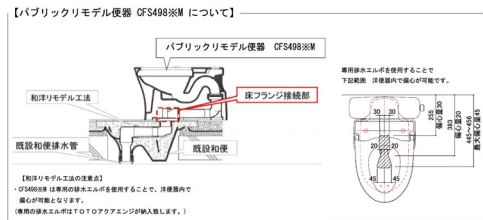


仕上げ表		
	女子便所	男子便所
天井	既設のまま（ケイカル板t=6 AEP）	既設のまま
壁	既設のまま（化粧ケイカル板）	既設のまま
巾木	既設のまま（ビニル巾木 H=100）	既設のまま
床	長尺ビニールシート 一部 新設	既設のまま
その他	トイレブース扉 新設 （縦枠共） 洋便器・手摺・紙巻き 新設 （設） 天井点検口（450角） 新設	



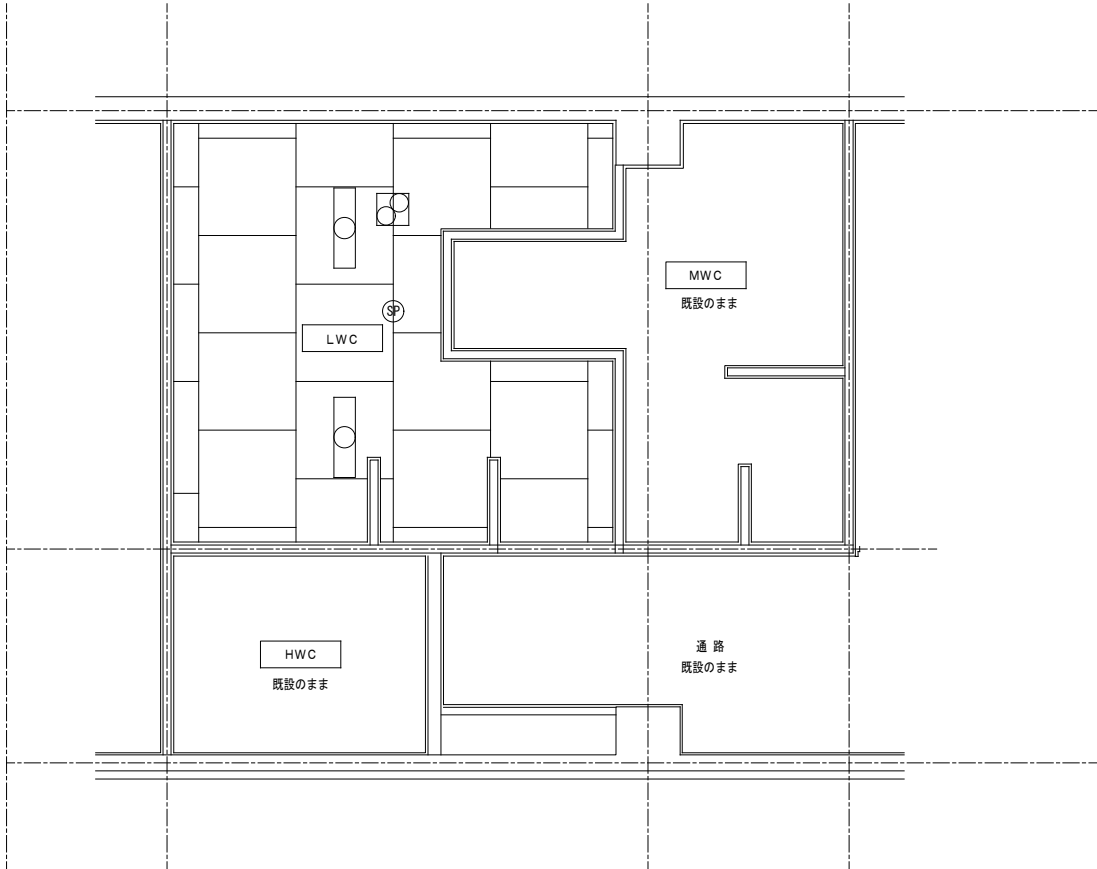


断面詳細図 1/50

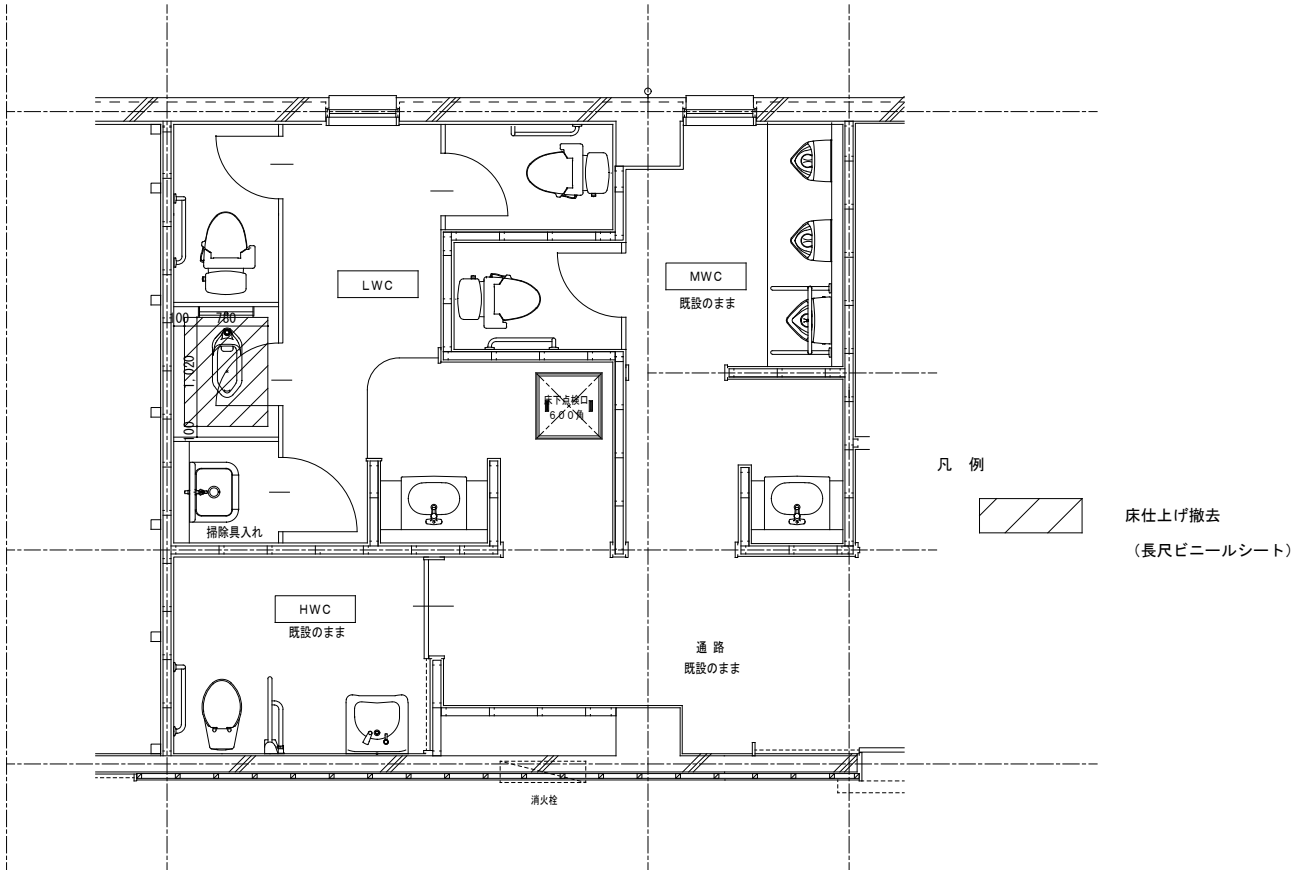


和便器撤去詳細

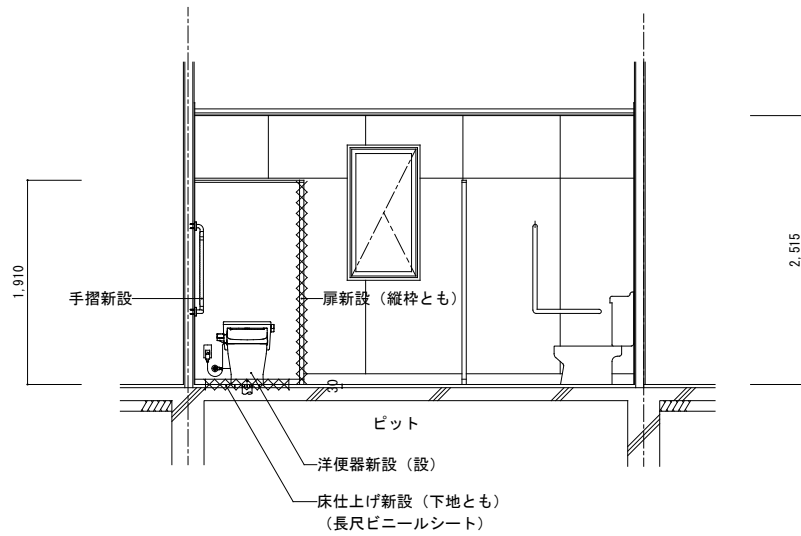
撤去建具			
符号	数量	1 TB	1
姿図・寸法			
床高			
型式	トイレブース		
枠見込 (扉見込)	40		
仕上	ポリ化粧合板 (厚: 木目調)		
ガラス	—		
金物	ステンレス頭ツナギ、 表示付ラッチ、ヒンジ、戸当たり、FK 縦枠共: アルミ材		
備考			



天井伏図 1/50

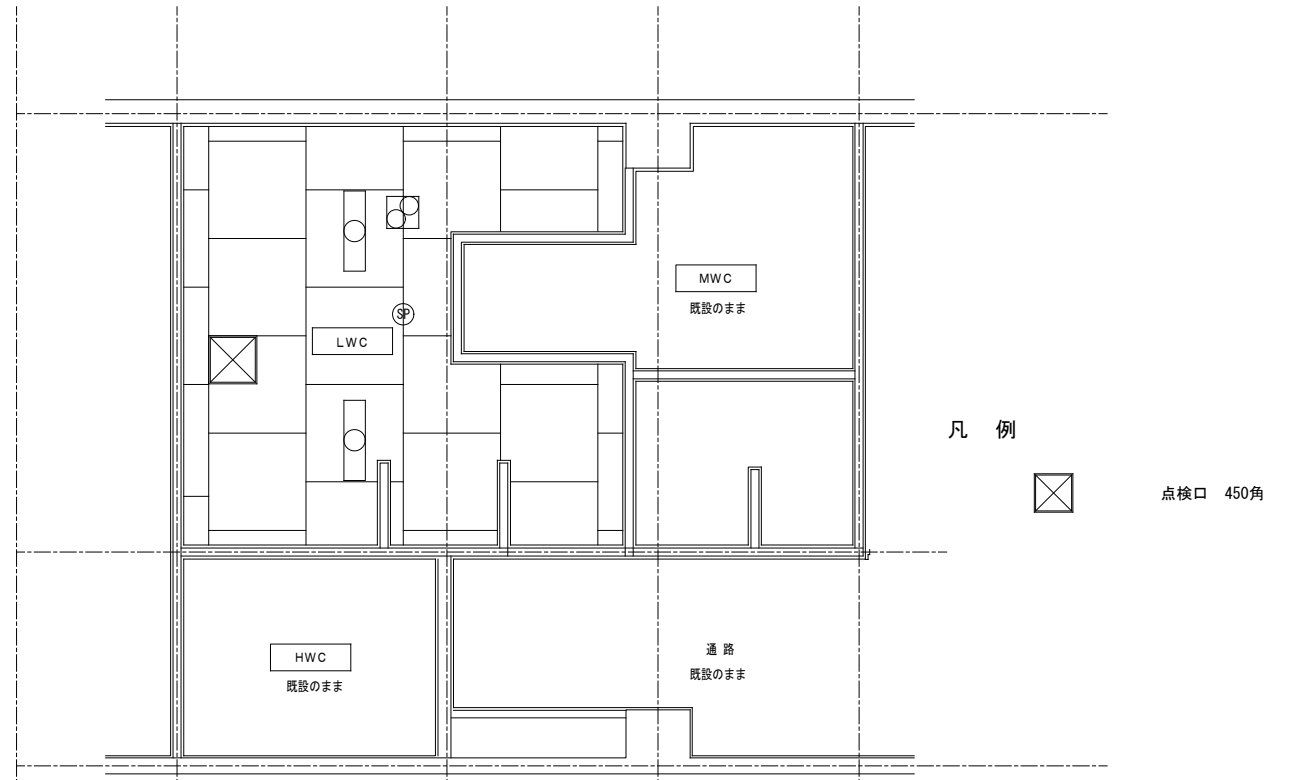


床伏図 1/50

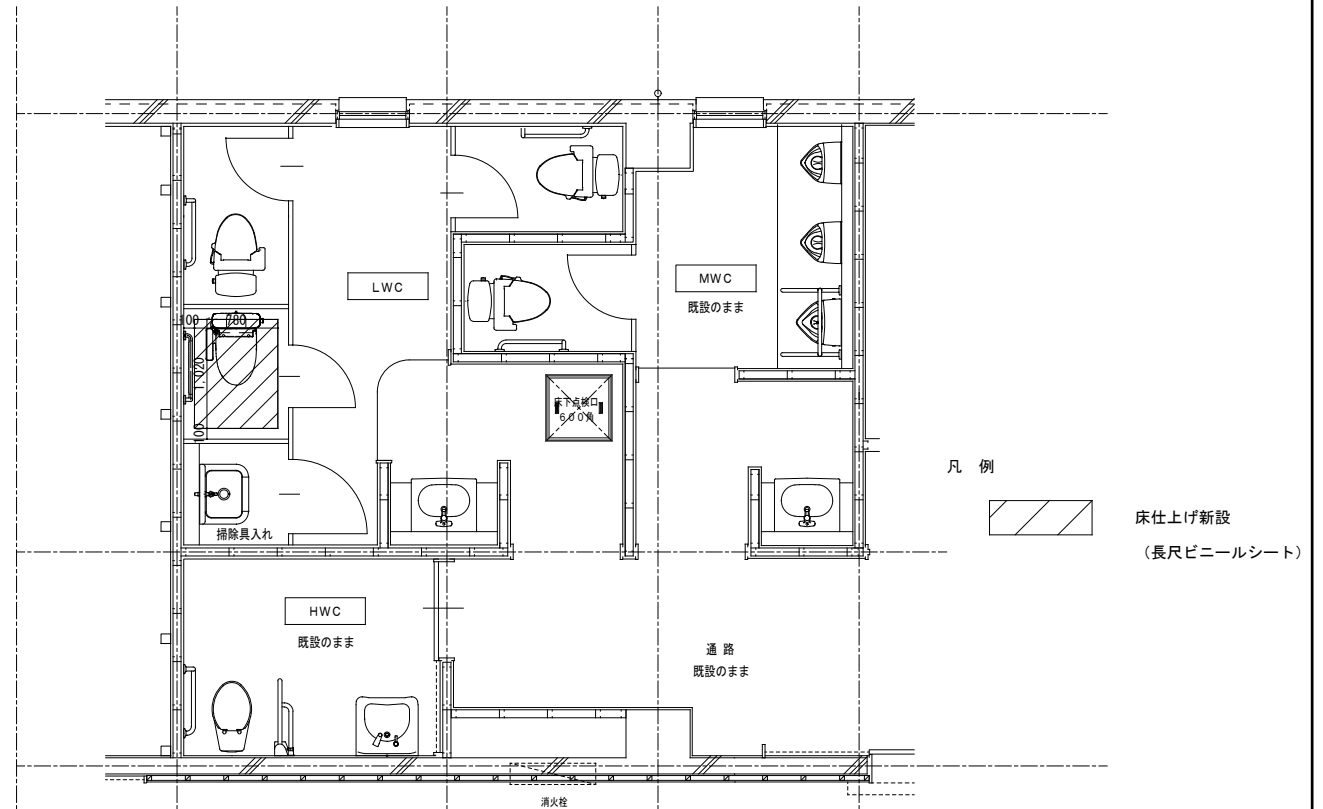


断面詳細図 1/50

新設建具			
符号	数量	1 TB	1
姿図・寸法			
床高▽	585		
型式	トイレブース		
枠見込 (扉見込)	40		
仕上	ポリ化粧合板 (扉: 木目調)		
ガラス	—		
金物	ステンレス頭ツナギ、 表示付ラッチ、ヒンジ、戸当たり、FK		
備考	縦枠共: アルミ材 ビス穴等はりベア処理すること		



天井伏図 1/50



床伏図 1/50

1. 工事名称

石津小学校体育館トイレ改修工事

2. 工事場所

海津市南濃町吉田319

3. 工事概要

敷地面積

-

m²

建築面積

m²

延床面積

m²

主要用途

消防法施行令による区分

別表 第一

() 項

4. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延床面積 (m ²)	消防法・令別第一	備 考

5. 一般事項

1) 本工事は、下記各事項に従い、確実に施工する。 <●印を適用とする>

●本特記仕様書

●設計図書

●工事請負契約書

●建築基準法

●消防法及施行令

●電気設備技術基準

●電力会社内線規程

●県市町村条例

●電話会社規程

●国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」（最新版）

○日本建築家協会監修「建築設備工事共通仕様書」（最新版）

2) 本工事請負業者は、本工事に必要な電力会社並びに所轄官公庁に対する届出及び手続き等を代行し、これに要する諸費用は、全て請負者の負担とする。
本工事に必要な工事用電力、水などの費用は、全て請負者の負担とする。

3) 本設計図は設計の概要を示すもの故、本特記仕様書及び設計図書に示す範囲に於いて、明記なき部分でも技術上・施工上・工事完成上必要と認められる事項は、係員の指示に従い、異議なくこれを施工する事。 又、万一設計図に質疑のある時は、事前に係員と打合せを行いその指示に従う事。

4) 本工事請負業者は、下記に示す各書類及び図面等を、係員の指示する期日までに速やかに提出し、承認を受けた後施工する事。
工事工程表 施工図 メーカーリスト
機器承諾図 等
竣工時提出書類
竣工図 工事写真 竣工写真
絶縁測定結果 照度測定結果 接地抵抗測定結果
テレビ電界強度測定結果 等

6. 工事項目

本工事は、下記各項目を施工する。
<工事項目は●印、建物別項目は○印を適用とする>

No.	工 事 項 目	建 物 別 及 び 屋 外
○ 1	高圧受変電設備	
○ 2	自家発電設備	
○ 3	直流電源設備	
○ 4	幹線設備	
○ 5	動力設備	
● 6	コンセント設備	●
○ 7	電灯設備	
○ 8	非常照明設備	
○ 9	誘導灯設備	
○ 10	舞台照明設備	
○ 11	電話配管設備	
○ 12	電話機器設備	
○ 13	一般放送設備	
○ 14	非常放送設備	
○ 15	議場放送設備	
○ 16	舞台音響設備	
○ 17	視聴覚機器設備	
○ 18	電池時計設備	
○ 19	インターホン設備	
○ 20	ナースコール設備	
○ 21	出退表示設備	
○ 22	投葉表示設備	
○ 23	テレビ共聴設備	
○ 24	テレビ監視設備	
○ 25	テレビビル陰配管設備	
○ 26	テレビビル陰共聴設備	
○ 27	非常通報配管設備	
○ 28	非常通報機器設備	
○ 29	警備保障配管設備	
○ 30	警備保障機器設備	
○ 31	防災無線配管設備	
○ 32	防災無線機器設備	
○ 33	駐車場官制設備	
○ 34	非常通報設備	
○ 35	火災報知設備	
○ 36	防火戸自動閉鎖設備	
○ 37	ガス漏れ警報設備	
○ 38	避雷針設備	
○ 39	構内配電設備	
○ 40	構内通信設備	
○ 41		
○ 42		

7. 項目別概要

本工事は、下記各項目別概要に従い、確実に施工する。

○電力引込設備工事

受電電力 ○高圧電力 ○特別高圧電力 受電々圧 3 φ 3 W 6 6 0 0 V
○低圧電力 (○電灯・○動力) 受電々圧 1 φ 3W 100V φ W V
○深夜電力・無 ○有 (○高圧・○低圧) 受電々圧 φ W V
引込方式 ○地中引込 ○架空引込 ○連接引込
引込場所 ○建物直接 ○引込柱設置 (以降 ○地中埋設・○架空配線)
電力計取付場所 ○引込柱 ○建物外壁 ○キュービクル内

○高圧受変電設備工事

受電設備型式 ○屋外 ○屋内 ○キュービクル ○フレーム式
主遮断器 ○VCB ○OCB ○ACB ○LBS ○その他 操作 (○手動・○電動)
変圧器等 変圧器 (○油入・○乾式) コンデンサ (○有・○無) リアクトル (○有・○無)

○自家発電設備工事

発電電力 φ W V H z K V A
発電機型式 ○屋外 ○屋内 ○キュービクル ○オープン式 切替盤 (○搭載型・○別置型)
○一般型 ○低騒音型 ○低騒音マフラー付 ○寒冷地仕様 ○水冷 ○空冷

○直流電源設備工事

電気方式 一次側 ○AC1 φ 3W200/100V ○AC1 φ 2W200V ○AC1 φ 2W100V ○AC3 φ 3W200V
二次側 ○DC1 φ 2W100V ○DC1 φ 2W24V
蓄電池種類 ○鉛 (○HS・○CS・○MSE) ○アルカリ (○AH・○AMH)
型式 ○キュービクル式 (○高圧盤併設・○単独設置) ○架台設置式
用途 ○非常照明用 (分) ○操作用 ○非常照明・操作兼用

○幹線動力設備工事

電気方式 動力 ○3 φ 3W200V ○3 φ 3W6,600V
電灯 ○1 φ 2W100V ○DC1 φ 2W100V
配線方式 ○金属管工事 ○合成樹脂管工事 ○金属ダクト工事 ○バスダクト工事
○ケーブル配管工事 ○ケーブルラック工事

●電灯コンセント設備工事

電気方式 電灯照明 ○1 φ 2W100V ○1 φ 2W200V ○DC1 φ 2W100V
コンセント ●1 φ 2W100V ○1 φ 2W200V
配線方式 ●金属管工事 ●合成樹脂管工事 ○CD管工事 ●PF管工事
●ケーブル工事 (●天井内のみ・○乾式壁内共)
配線器具 器 具 ○連用 ○非連用 ○ハイレ角連用 ●フルカラー
プレート ●新金属 ○ホワイトブロンズ ○樹脂 ○フルカラー
照明器具 別紙姿図参照

○電話配管設備工事

配管方式 ○金属管工事 ○合成樹脂管工事 ○CD管工事 ○PF管工事
○フロアードクト工事 (○電話専用・○強電兼用)
アウトレット 壁面 ○新金属 ○ホワイトブロンズ ○樹脂 ○フルカラー ○その他
床面 ○亀甲型 ○クラゲ型 ○クローバ型 ○フリーアクセス用 ○その他

○電話機器設備工事

交換機 ○ホームテレホン ○ボタン電話 ○デジタル式 ○電子式 ○その他
回線数 ○局線 / 回線 ○内線 / 回線
電話機 ○卓上型 ○壁掛型 ○ダイヤル式 ○プッシュ式

○放送設備工事

種別 ○一般放送専用 ○一般非常放送兼用 ○非常放送別置 ○ローカルアンプ別置
増幅器 ○卓上型 ○壁掛型 ○デスク型 ○ラック型 ○総合盤組込型
附属機器 ○マイクロホン ○プレーヤ ○カセットレコーダ ○その他別紙参照
配線方式 ○金属管工事 ○合成樹脂管工事 ○CD管工事 ○PF管工事
○ケーブル工事 (○天井内のみ・○乾式壁内共) ○その他

○電池時計設備工事

親時計 ○水晶式 ○壁掛型 ○据置型 ○総合盤組込型 ○プログラムタイマー
子時計 ○埋込型 ○壁掛型 ○塔時計 ○スピーカ付 ○その他別紙参照
配線方式 放送設備参照

○インターホン設備工事

機器型式 ○ドアホン ○テレビドアホン ○集合住宅用 ○夜間受付用 ○その他
親機 (○電話形・○スピーカ形) 子機 (○電話形・○スピーカ形) ○AC ○DC
通話方式 ○親子式 ○相互式 ○同時式 ○交互式
配線方式 放送設備参照

○ナースコール設備工事

親機 ○ボード型 ○卓上型 ○デジタル表示型 ○標準型 局数 /
子機 ○ユニット型 ○ハンド型 ○アーム型 ○天井マイク・握り押釦型
附属機器 ○廊下灯 ○復帰釦 ○トイレ押釦 ○浴室押釦 ○その他別紙参照
配線方式 放送設備参照

○出退表示設備工事

表示盤 ○2モード表示 ○4モード表示 ○卓上型 ○壁掛型 ○その他
操作器 ○個人用 (○卓上型・○埋込型) ○卓上型集中操作器
配線方式 放送設備参照

○投葉表示設備工事

表示盤 ○磁気反転式 ○ランプ式 ○壁掛型 ○埋込型 ○吊下型 ○その他
操作器 ○卓上テンキー式 ○卓上押釦式 ○その他
配線方式 放送設備参照

<●印を適用とする>

○テレビ共聴設備工事

受信方式 ○アンテナ設置 (マスト ○壁付・○屋上ベース付・○屋根風付) ○地域共聴引込
アンテナ ○BSバラボラ ○VHF (○1段・○2段) ○UHF (○1段・○2段)
○一般市販品 ○公共住宅用規格品 ○国土交通省型ステンレス製
附属機器 ○BS放送兼用型 ○一般放送専用型
配線方式 放送設備参照

○テレビ監視設備工事

テレビカメラ ○白黒 ○カラー ○固定式 ○リモコン式 ○その他
レンズ ○標準レンズ ○広角レンズ ○望遠レンズ ○電動ズームレンズ
附属機器 ○モニターテレビ ○モニター切替器 ○分配器 ○その他
配線方式 TV共聴設備参照

○テレビビル陰共聴設備工事

受信点 ○本工事建物 (マスト ○壁付・○屋上ベース付) ○敷地内ポール ○敷地外
電源引込位置 ○本工事建物 ○敷地外電力会社柱
アンテナ ○BSバラボラ ○VHF (○1段・○2段) ○UHF (○1段・○2段)
○一般市販品 ○公共住宅用規格品 ○建設省型ステンレス製
敷地外配線 ○専用ポール建柱 ○電力柱・電話柱共架 ○軒先連接 ○その他

○非常通報設備工事

主装置 ○壁掛型 ○総合盤組込型 ○非常電源内蔵型 ○非常メッセージ装置内蔵
操作部 ○主装置一体型 ○総合盤組込パネル型
入力回路 ○火災報知機 ○ガス漏れ受信機 ○防犯受信機 ○その他
出力回路 ○消防署 ○警察署 ○警備保障会社 ○その他

○非常警報設備工事

受信機 ○K型受信機 ○非常電源 (○内蔵型・○別置型)
発信機等 ○総合函 (○埋込・○露出) ○非常電源 (○内蔵型・○別置型)
附属機器 ○火災感知器 ○住戸音響装置 ○その他
配線方式 放送設備参照

○火災報知設備工事

受信機 P型1級 蓄積型 ○消火栓連動 ○副受信機 窓
○単独盤 (○壁掛・○自立・○総合盤組込) 火報 4 0 窓
○複合盤 (○壁掛・○自立・○総合盤組込) 火報 窓・防火戸 窓・ガス漏れ 窓
○消火栓組込 ○総合函 (○埋込・○露出) ○個別設置
発信機等 ○差動式スポット型 ○定温式スポット型 ○差動式分布型 ○煙感知器 ○その他
感知器 ○差動式スポット型 ○定温式スポット型 ○差動式分布型 ○煙感知器 ○その他
配線方式 自動火災報知設備参照

○防火戸自動閉鎖設備工事

受信機 ○火報複合盤 ○単独盤 (○壁掛・○総合盤組込) 窓
自閉装置等 ○防火戸 ○防火シャッター ○防災垂れ壁 ○防火ダンパー ○その他
配線方式 放送設備参照

○ガス漏れ警報設備工事

ガス種類 ○都市ガス用 ○LPG用
受信機 ○火報複合盤 ○単独盤 (○壁掛・○総合盤組込) 窓
附属機器 ○感知器 (○天井付都市ガス用・○壁付LPG用) ○表示灯 ○中継器 ○その他
配線方式 放送設備参照

○避雷針設備工事

突針 ○JIS型 ○建設省型 ○その他 ○鋼製クロムメッキ ○鋼製金メッキ
支持管 ○黄銅管 ○ステンレス管 ○アルミ管 ○白ガスパ管 ○亜鉛メッキ鋼管 ○その他
引下導線 ○避雷導線 ○鉄筋又は鉄骨利用 ○その他
接地極 ○銅板 (900×900×1.5t) ○補助接地 ○測定用接地

○屋外配線設備工事

配線方式 ○地中埋設 ○トレンチ内 ○架空配線 ○その他
地中埋設方式 ○直埋式 ○管路式 (OHIVE・OPEP・OGP・○ヒューム管・○その他)
地中埋設深さ ○GL-600以上 ○GL-1,200以上

○耐震措置

次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 (国土交通省国土技術政策研究所) 2 0 0 5 年版」による。
設計用水平地震力 機器重量に、下表に示す設計用水平地震力を乗じたものとする。
<施設区分> ○特定の施設 ○一般の施設
<重要機器> ○配電盤 ○自家発電装置 ○交流無停電電源装置 ○直流電源装置
○交換機 ○火災報知器受信機 ○中央監視装置
<上層階の定義> 2 ～ 6 階建の場合は最上階、7 ～ 9 階建の場合は上層 2 階、1 0 ～ 1 2 階建の場合は上層 3 階、1 3 階以上の場合は上層 4 階

設置場所	局部震度法による建築設備機器の設計水平震度			
	特定の施設 (甲類・乙類)	一般施設 (乙類)		
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽
上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	(2. 0)	(2. 0)	(2. 0)	(1. 5)
	(2. 0)	(1. 5)	(1. 5)	(1. 0)
中間階	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	(1. 5)	(1. 5)	(1. 5)	(1. 0)
	(1. 5)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)
地下階、1 階	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	(1. 0)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)
	(1. 5)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)

(注) () 内数値は防振支持の機器の場合に、() 内数値は水槽類に適用する。
設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の 1 / 2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。

8. 主要材料

本工事に使用する主要材料は、下記又は係員が同等品以上と認めたメーカーとする。

品 名	メ ー カ ー
電線・ケーブル	J I S 表示品
電線管及び附属品	J I S 表示品
キュービクル	新愛知 中 立 別 川 尾 関 三 景 日 東
高・低圧盤	ハナニク
端子盤	東 芝 三 菱 日 立 新愛知 高 松
高圧遮断器・開閉器	ハナニク
変圧器	大 菱
コンデンサ	指 月 日コン
発電機	ヤンマー 明電舎
直流電源装置	湯 浅 日本電池
無停電電源装置	岩 崎
一般照明器具	別紙姿図記入メーカー
特殊照明器具	ハナニク 東 芝 三 菱 日 立 岩 崎
投光照明器具	換気扇
換気扇	配線器具
配線器具	舞台照明機器
舞台照明機器	電話機器
電話機器	インターホン機器
インターホン機器	ナースコール機器
ナースコール機器	出退表示機器
出退表示機器	投葉表示機器
投葉表示機器	一般・非常放送機器
一般・非常放送機器	舞台音響機器
舞台音響機器	視聴覚機器
視聴覚機器	電気時計機器
電気時計機器	テレビ共聴機器
テレビ共聴機器	非常通報機器
非常通報機器	非常警報機器
非常警報機器	火災報知機器
火災報知機器	防火戸自動閉鎖機器
防火戸自動閉鎖機器	ガス漏れ警報機器
ガス漏れ警報機器	避雷針
避雷針	

9. 工事区分

本工事における工事区分は下記とするが、各請負業者と打合せ確認の上施工する事。

<○印を適用とする>

項 目	建 築	電 気	空 調	給排水	別 途	備 考
電力会社外線工事負担金						
テレビビル陰共聴工事						
躯体貫通スリーブ・仮枠		○				
同上用鉄筋補強	○					
天井・床・壁点検口	○					
設備機器用天井切込加工		○				
同上用下地補強	○					
キュービクル基礎						
発電機基礎						
自立盤基礎						
外灯基礎						
テレビアンテナ基礎						
無線ポール基礎						
換気扇及び専用スイッチ						
同上用配管配線						
天吊 F C スイッチ用配管配線						
天吊 A C スイッチ用配管配線						
エアコン室内外機間配管配線						
空調自動制御機器						
同上二次側配管配線						
各水槽電極及び保持器						
同上用配管配線						
浄化槽盤						
同上二次側配管配線						
煙感連動防火戸用保持器						
同上防火垂れ壁用保持器						
同上防火シャッター用リレー						
自動閉鎖用煙感知器						
同上用配管配線						
E L V 用インターホン機器						
同上用配管						
同上用配線						

2,5,2,0

石津小学校体育館トイレ改修工事

電気設備特記仕様書

scale
A2→1/50
A3→70%縮小

date

design

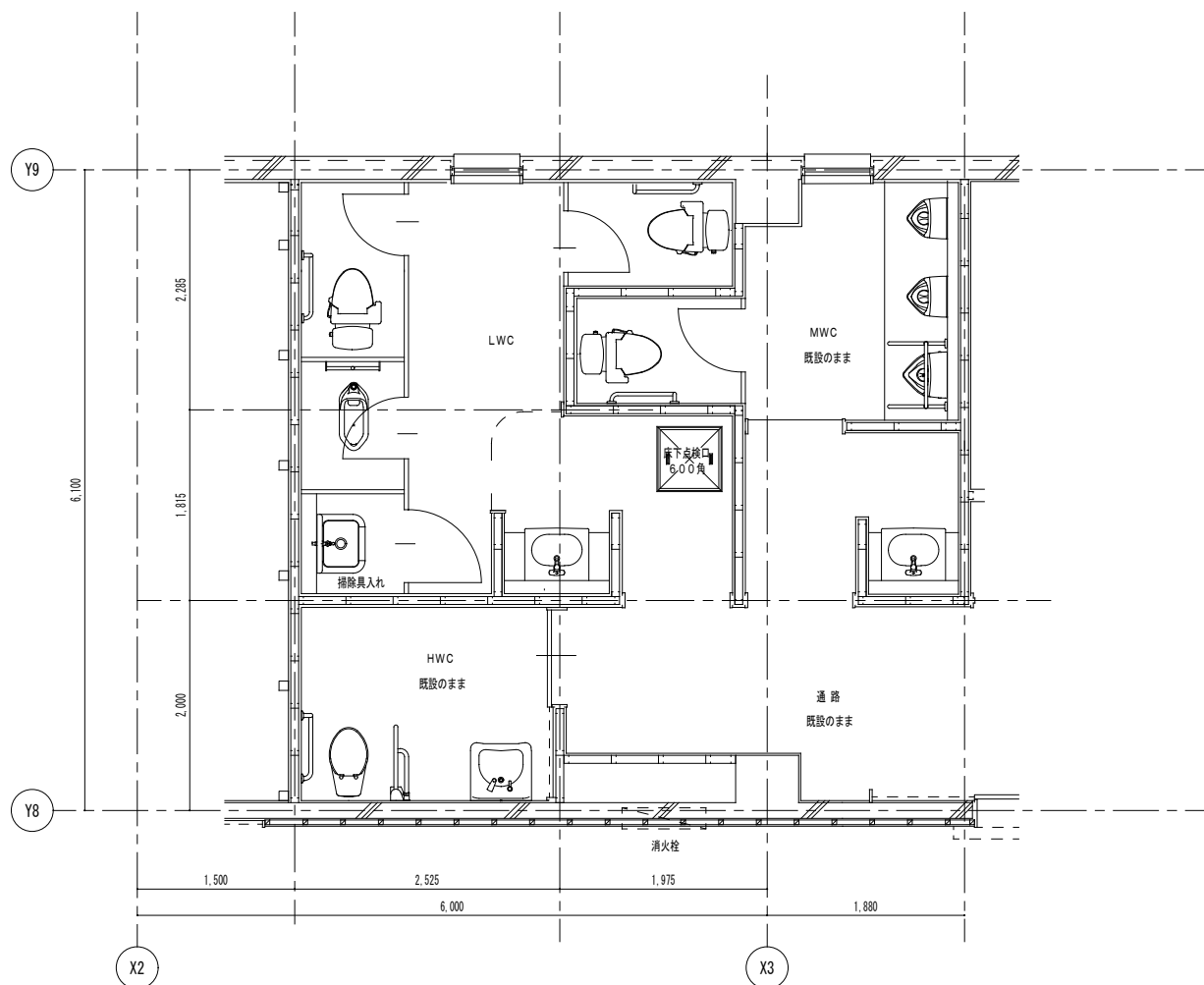
draw

check

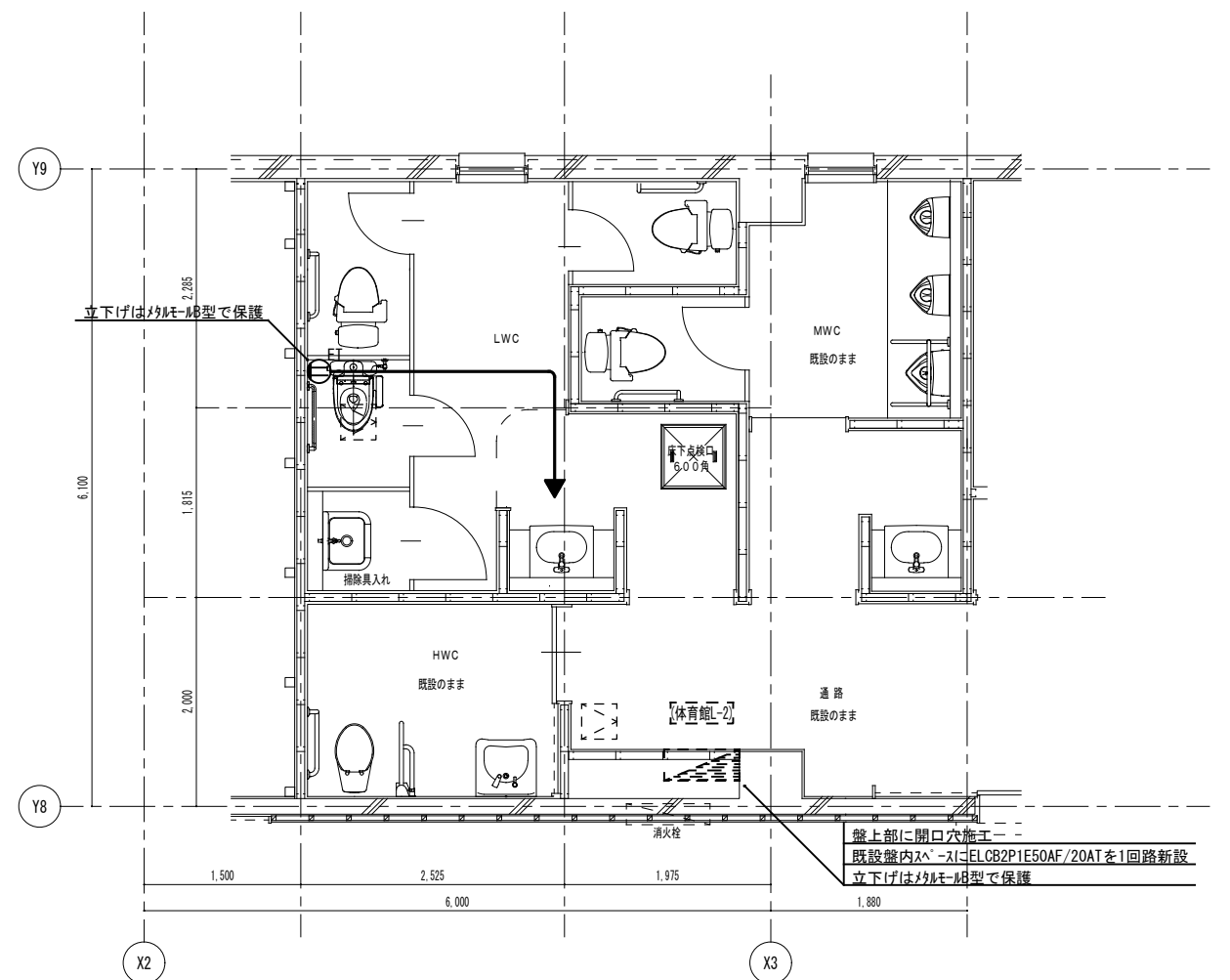
大建設計株式会社

一級建築士213675号
古川 富士雄

301



改修前 平面詳細図 1/50

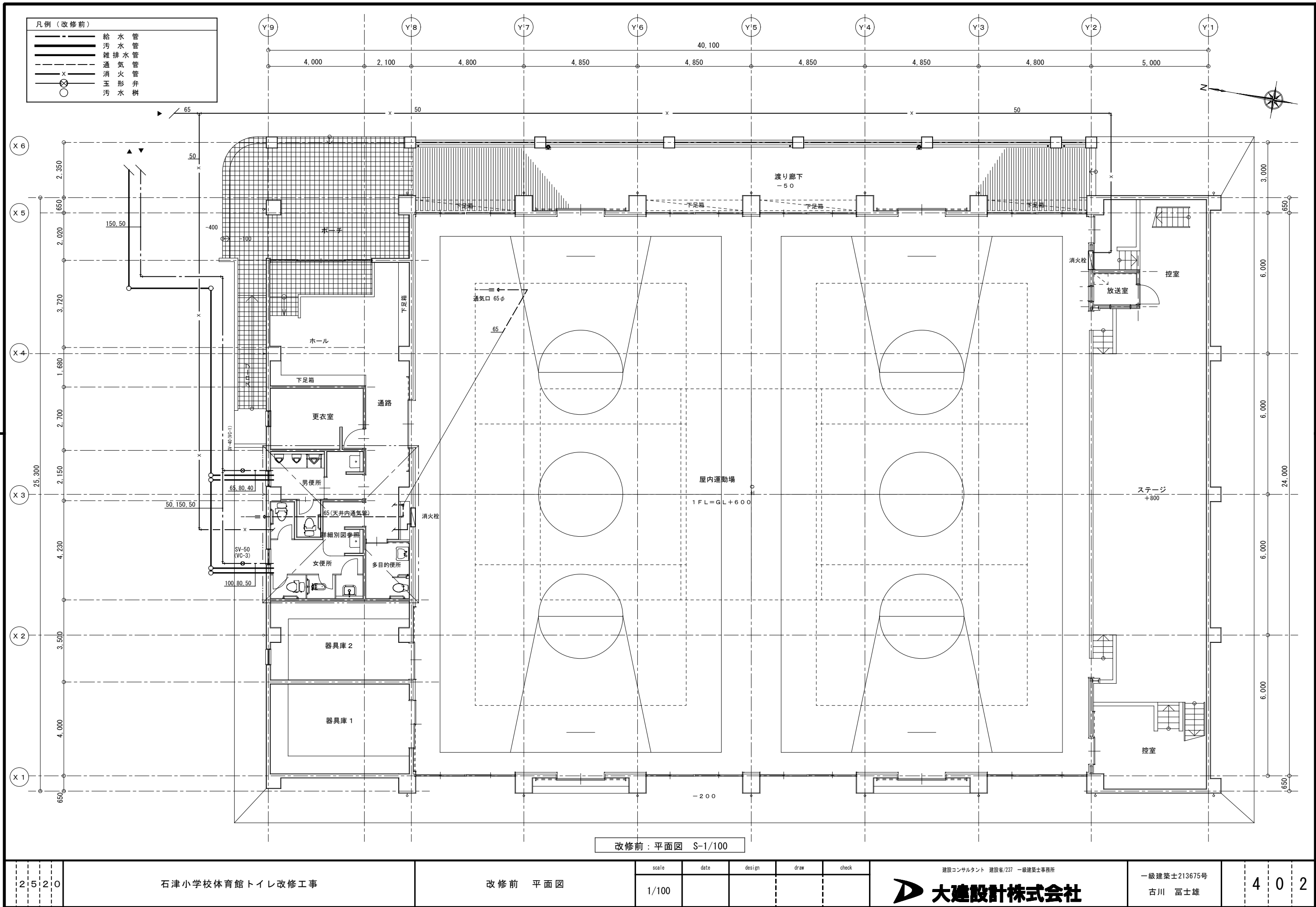


改修後 平面詳細図 1/50

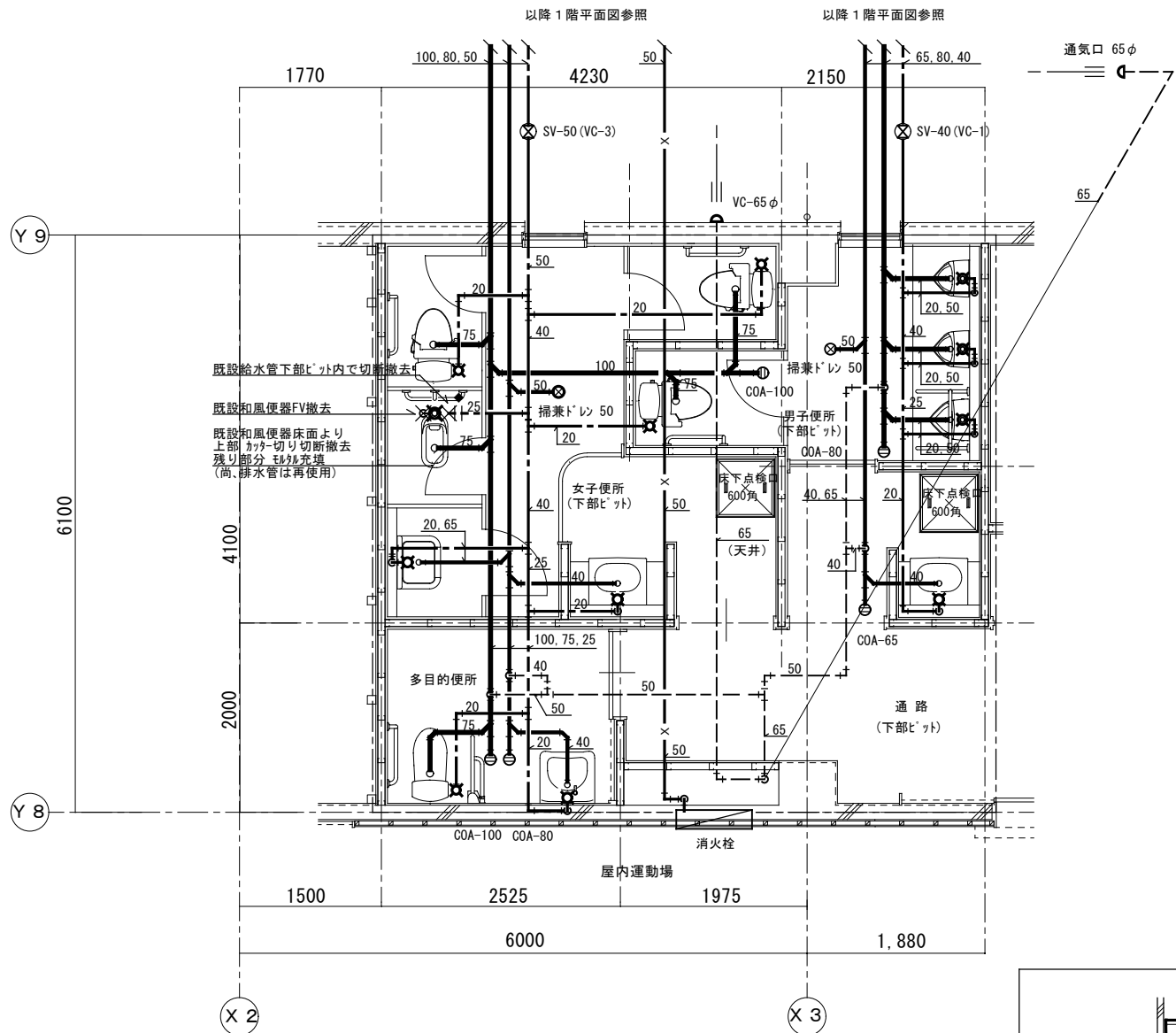
①^{ET} コンセント 2P15A×1 ET付
□ 点検口 □450 (建築工事)

特記なき配管・配線は下記とする。
— EM-EEF2.0-3c (PF22)
二重天井内はケーブル工事とする。

工 事 名 称		石津小学校体育館トイレ 改修工事（機械 設備）	
仕 様 書			
Ⅰ．工 事 概 要			
1. 工 事 場 所 * 岐阜県 海津市 南濃町吉田 319			
2. 建 物 概 要			
建 物 名 称		構 造	階 数
小学校 (体 育 館)		RC造+S造	1
3. 工 事 種 目（●印を付けたものを適用する）			
建 物 別 及 び 屋 外		工 事 種 別	
工 事 種 目	屋 内		屋 外
○ 空気調和設備	一式	一式	一式
○ 換気設備	一式	一式	一式
○ 排煙設備	一式	一式	一式
○ 自動制御設備	一式	一式	一式
● 衛生器具設備	● 一式	一式	一式
● 給水設備	● 一式	一式	一式
● 排水設備	● 一式	一式	一式
○ 給湯設備	一式	一式	一式
○ 消火設備	一式	一式	一式
○ 厨房機器設備	一式	一式	一式
○ ガス設備	一式	一式	一式
○ し尿浄化槽設備	一式	一式	一式
○ ろ過設備	一式		
○ 太陽熱設備	一式		
○ さく泉工事設備			一式
4. 指 定 部 分 ○ 無 ・ 有 ()			
5. 設 備 概 要			
・ 屋内運動場側のトイレ改修工事一行う。			
Ⅱ．工 事 仕 様			
1. 共 通 仕 様			
(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁庁舎等補修等の機械設備標準仕様書（最新版）及び機械設備改修工事標準仕様書（最新版）並びに国土交通省官庁庁舎設備設備改修等の機械設備工事標準図（最新版）による。			
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、電気設備工事の工事仕様は、（ ） 図、建築工事の工事仕様は（ ） 図による。			
2. 特 記 仕 様			
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。			
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。			
章		項 目	
特 記 事 項			
● ① 機 材 等		本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。	
● ② 主任技術者等		下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。 ・ 資格の区分Ⅰ （イ）建築業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定科目に合格した者。 （ロ）技術士法（昭和58年法律第25号）による第二試験のうち、技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は、「暖冷房及び冷凍機械」とするものに限る。）、水道部門又は、衛生工学部門に合格した者。 ○ 資格の区分Ⅱ （イ）技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定科目に合格した者。 （ロ）資格の区分Ⅰの資格を有する者。	
3. 電気保安技術者		・ 適用する ・ 適用しない	
④ 技能士の適用		○ 配管施工（配管工事） ・ 建築板金施工（ダクト製作および取付） ○ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の取付）	
⑤ 監督員事務所		○ 設けない ・ 設ける	
⑥ 工事用電力・水・その他		この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。	
⑦ 工事用仮設備		構内につくることが ・ できる ○ できない	
⑧ 足場、さん橋類		○ 関係契約の関係請負者が定置したものは無償で使用する。 ・ 本工事で設けとする。 ・ 改修共通仕様書第1編2.2.1によるほか、下記による。 ・ 内部仮設足場等（ 種 種） ・ 外部仮設足場等（ 種 種）	
9. 残 土 処 分		・ 埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の構内に敷きならしとする。 ・ 現場説明書による。 ・ 場外処分による。	
10 埋戻し土・盛土		・ 切取り土中の良質土（但し、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 川又は、山砂の類	
① 工 事 写 真		国土交通省大臣官庁官庁庁舎等補修「工事写真」の撮り方（改第2訂版）建築設備編）による。	
12 案 内 板		機器等の取り扱い方、及び重要な定期点検項目を書いたワクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。 案内板の大きさは、約 mとする。	
③ 総 合 調 整		○ 本工事（調整項目は下記のものとする。） ・ 風量調整 ○ 水封調整 ・ 室内外気温度の測定 ・ 室内気流及び塵埃の測定 ・ 騒音の測定 ・ 別途とする。	
④ 電源周波数		・ 50Hz ○ 60Hz	
15. 容量等の表示		(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。	
⑥ 耐 震 措 置		設備機器の固定等は、すべて「建設省住宅局監修の建築設備配置設計・施工指針1997年版」により行なう。ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力K _h （下表中、固定の機器／防振支持の機器／水櫃類）及び設計用鉛直地震力K _v （K _h ／2）を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 ○ 特定の施設におけるK _h 。	
		設置場所 1階の床以下 1階天井～ 階の床 階の天井以上 重要機器 1.0／1.0／1.5 1.5／1.5／1.5 2.0／2.0／2.0 重要以外 0.6／1.0／1.0 1.0／1.5／1.0 1.5／2.0／1.5	
		・ 一般の施設におけるK _h 。	
		設置場所 1階の床以下 1階天井～ 階の床 階の天井以上 重要機器 0.6／1.0／1.0 1.0／1.5／1.0 1.5／2.0／1.5 重要以外 0.4／0.6／0.6 0.6／1.0／0.6 1.0／1.5／1.0	
		○ 重要機器は次のものを示す。 ○ 給水装置 ・ 排水装置 ・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備 ・ 監視制御設備 ・ 燃焼物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器	
17. 配 管		浴槽等の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要 ()	
18. 地中埋設標準		(1) 地中埋設標準 ・ 要 (図面の箇所) (杭又はビ)製 ・ 不要 (2) 埋設表示用テープ ・ 要 (排水管を除く) ・ 不要 ○ 給水、消火、ガス配管等 (3) 配管埋設時には、管保護用砂を周囲に入れた後埋戻しを行うこと。	
③ 保 温		標準仕様書第2編によるほか下記による。 (材料は保温断熱材を使用、(尚土間埋設部(給湯管)は「ポリイソシアネート防水麻布」を塗り塗仕様とする。) ・ 屋外露出部（給水管 ・ 消火管 ・ 給湯管 ・ ドレン管 ・ 冷媒管 ・ 弁類を含む）は、防凍保温(SUS巻き仕上)を行う。その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。 厚さは、配管の呼び径80φ以下のものは20t、呼び径100φ以上のものは25tとする。 ○ 共同溝、床下ピットの保温は（標準仕様書第2編の施工箇所）を適用する。 ・ 多湿箇所は下記の場所とする。（天井内共多湿仕様とし、ユニットは含まない） ・ 浴室 ・ 脱衣室 ・ 厨房(処理室含む) ・ 便所内 ・ 屋内露出（笑機室 ）の保温外装は（「75t」52tS ・ 合成樹脂ビ ・ SUS巻き）とする。 ○ 耐火2層間の箇所は保温不要。	
20. 塗 装		下記の金属配管、金属電線管は塗装を行なう。 ・ 屋外露出 ・ ()の屋内露出 下記の保温を施さない垂れめつきを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ・ 機械室 ・ 倉庫 ・ 電気室 ・ 自家発電 ・ E V機械室 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、ダイヤモンドカッターを用いる。	
④ は つ り		電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編2.4.1表、4.2.12による。 (1) 本工事においては、次の電線管（EMケーブル）の規格を追加する。	
22. 電 線 類		呼 称 規 格 I E電線 J C S第416号 600V耐熱性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IC) I E C電線 J C S第417号 600V耐熱性架橋ポリエチレン絶縁電線 (EM-IC) E Eケーブル、C Eケーブル J C S第418号 600V耐熱性ポリエチレンシースケーブル 制御用Eケーブル J C S第419号 制御用耐熱性ポリエチレンシースケーブル (2) 設計図面にビニル電線等を使用する旨の記載があるものは、EMケーブルの規格を含むものとする。 (3) EMケーブルの電線の色別は、原則として国土交通省大臣官庁官庁庁舎等補修の電気設備工事標準仕様書（最新版）による。	
23. 天井仕上区分			



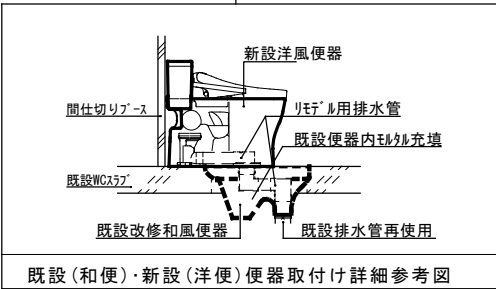
改修前：平面図 S-1/100



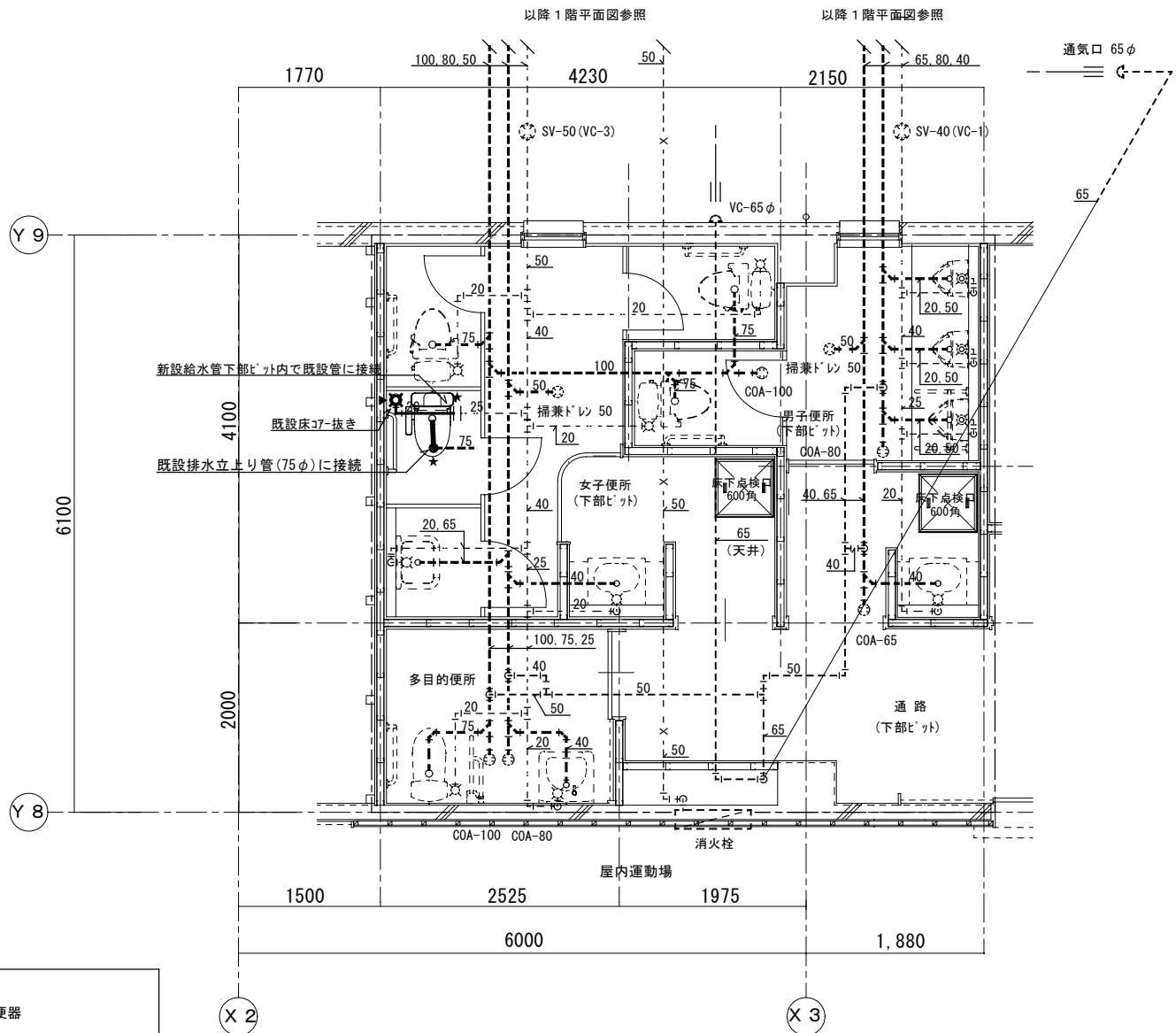
凡例（改修前）	
	給水管（ポリ・インペイ・暗渠（SGP-PB）
	汚水管（VP）
	雑排水管（VP）
	通気管（VP）
	既設配管切断箇所
	既設配管撤去箇所

改修前 平面詳細図 1 / 5 0

体育館便所 既設 器具表				
室 名	器 具 名 称	品 番	数 量	
			男子	女子
便 所	洋風便器	* 現況のまま CS430、密結防露式タンク、便座（普通）、棚付2連紙巻器、等含む。	1	2
（男女共）	同上手すり	* 現況のまま 多用途用 L形（SUS製樹脂被覆タイプ） 700Lx700hx120d	1	2
	和風便器	※ 部分改修 （C750VF、フラッシュ弁） * フラッシュ弁、紙巻器（2連式） 撤去処分		1
	同上手すり	※ 部分改修 （1型（SUS製樹脂被覆タイプ） 500Lx120d * 撤去）		2
	小 便 器	* 現況のまま UFH500（壁掛け壁排水形）、フラッシュ弁、等含む。	3	
	同上手すり	* 現況のまま 小便器用手すり（SUS製樹脂被覆タイプ） 600wx470hx550d	1	
	洗 面 器	* 現況のまま L-830CRU（セルフリッシング型）、546（楕円形 アンダーカウンター式）、単水栓、排水金具、水石入れ 等含む。	1	1
	同 上 カウンター	* 現況のまま マップライトカウンター（寸法 600Dx900～1000L）、収納式	1	1
	化 粧 鏡	* 現況のまま 450x600h	1	1
	掃除流し	* 現況のまま SK22A、水栓、排水金具（S形） 等含む。		1
多目的便所	* 現状のまま			—



既設（和便）・新設（洋便）便器取付け詳細参考図



改修後 平面詳細図 1 / 5 0

凡例（改修後）	
	新設給水管（ポリ・インペイ・暗渠（SGP-VB）
	新設汚水管
	既設 給水管・排水、雑排水管・通気管
	新設・既設配管接続箇所
	コブ抜き及び研り 補修箇所

体育館便所 既設・新設 器具表				
室 名	器 具 名 称	品 番	数 量	
			男子	女子
便 所	洋風便器	* 既設再使用（便座・紙巻器 共）	1	2
（男女共）	同上手すり	* 既設再使用	1	2
	洋風便器	新設（部分改修）フラッシュタンク式便器（床給水排水）CFS498BMT、洗浄便座（TCF589AU）、棚付2連紙巻器（YH702）、等一式含む。）		1
	同上手すり	新設（部分改修）（L型（SUS製樹脂被覆タイプ） 700Lx700hx120d）		1
		取付金具等含む。		
	小 便 器	※ 既設再使用	3	
	同上手すり	※ 既設再使用	1	
	洗 面 器	※ 既設再使用（同カウンター共）	1	1
	化 粧 鏡	※ 既設再使用	1	1
	掃除流し	※ 既設再使用		1
多目的便所	* 現状のまま			—